

## ヒメジャコ殻長制限の具体的取り締まり策

村越正慶

県漁業調整規則の改正によってヒメジャコは殻長8cm以下が採捕禁止となる。この貝はサンゴ礁に穿孔して生息しているために採捕にあたって殻が割られることが多く、また商品として店頭に出される時にはすでに軟体部のみとなっている。このため実際の取り締まりにあたっては目安となるべきものを見つけておく必要があると思われる。

そこで殻長と各部の関係を示してその資料として供した。

現場での場合、長さを測る方が重さをはかるより簡便であると思われるので図1~3に殻長と殻高、殻長と水管部外套膜、そして殻長と閉殻筋短径の関係を図で示し、表1には殻長と取り締まりに必要な部位との関係式とその目安については現状を考慮して示した。

水管部外套膜には厚い筋内層があり、よく収縮するのでその測定には生のまま切り取り、天然での伸長状態に近づけるため軽く引っぱって測った。そのために水管部外套膜長は殻長に比例するが相関係数が0.8748と少し低くなっている。閉殻筋は生のまま取り出し周囲の共生藻を含む色彩の鮮明な薄い膜をはがして、少し楕円形になった短径を測定した。殻長との関係で相関係数は0.9622と高く、取り扱いの面からも一番実用的であると考えられる。

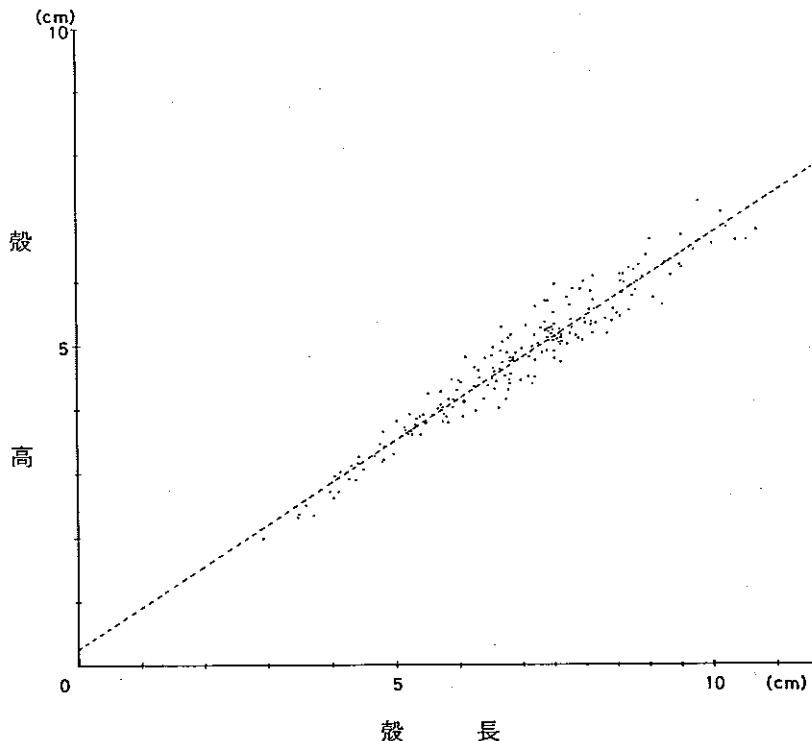


図1 殻長と殻高

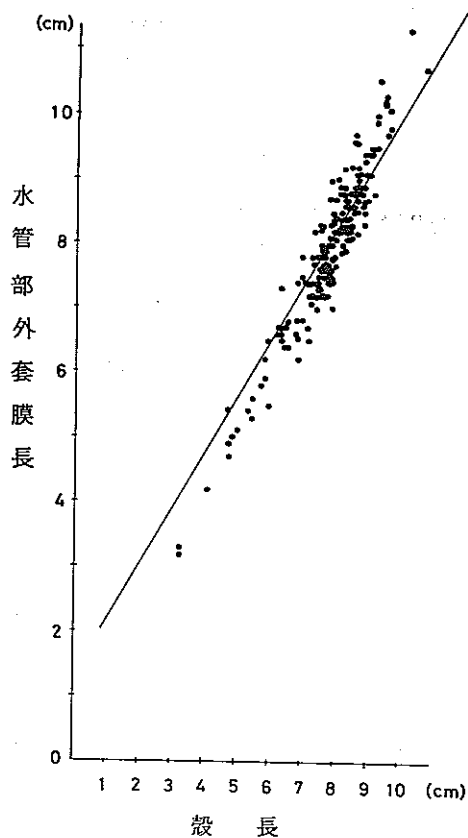


図1 殻長と水管部外套膜の長さ

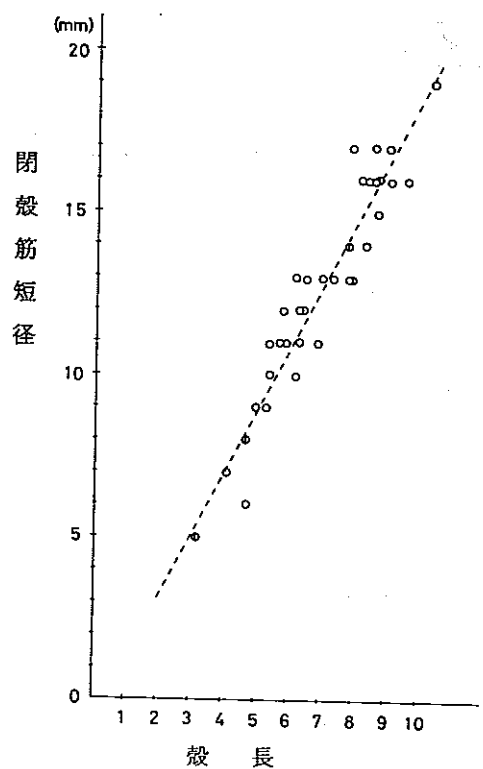


図3 殻長と閉殻筋短径

表1 殻長 (SL) と各部位との関係

部 位	関係式 (相関係数)	目 安	備 考
殻 高 (SH)	$SH = 0.6535SL + 0.2612$ ( $r = 0.9661$ )	5.4 (cm)	殻長が割れている場合
殻 巾 (SW)	$SW = 0.5276SL + 0.0010$ ( $r = 0.9445$ )	4.2 (cm)	殻長及び殻高が割れている場合
全湿重量 (W)	$W = 0.2495SL^{2.9734}$ ( $r = 0.9749$ )	120 (g)	殻つき貝の一般関係式
最上可食部 (F)	$F = 0.0352SL^{2.8362}$ ( $r = 0.9856$ )	12.8 (g)	水管部外套膜と貝柱のみ の場合
軟体部-生殖巣部 (M-GW)	$M-GW = 0.0771SL^{2.7854}$ ( $r = 0.9792$ )	25.0 (g)	生殖巣部 (トーフ) を 取り除いた場合
水管部外套膜 (S.M)	$SM = 0.86SL + 1.31$ ( $r = 0.8748$ )	8.0 (cm)	食用となる色彩のついた 外套膜部分の長さ
閉殻筋短径 (A)	$A = 0.189x - 0.059$ ( $r = 0.9622$ )	1.4 (cm)	貝柱の短径